

その他の水質測定結果の概要

1 全窒素及び全リン

富栄養化の原因物質といわれる窒素、リンについて、河川30水域36地点、湖沼4水域8地点、海域5水域7地点で測定を行った。

河川では、生活排水等が多く流入する浅野川や御被川、市の瀬用水、宇ノ気川等の水域において他の河川等と比較して高い値を示している。また、海域では、泊地出口及び寿町防波堤内の両地点において全窒素、全リンとも高い値を示している。

測定結果は参考資料5（P75）に示す。

2 特殊項目（銅、亜鉛、陰イオン界面活性剤）

銅、亜鉛については梯川水系を中心に河川13水域21地点で測定を行っている。最大値及び平均値が最も高かった地点は銅、亜鉛ともに主谷川合流点下流であり、最大値は銅が0.77mg/L、亜鉛が3.7 mg/L、平均値は銅が0.23mg/L、亜鉛が0.96 mg/Lであった。

測定結果は、参考資料6（P77）に示す。

陰イオン界面活性剤については、河川11水域11地点、湖沼1水域1地点、海域1水域1地点で測定を行った。生活排水が多く流入する御被川の平均値は0.52mg/Lと他の測定地点より高い値を示している。

測定結果は、参考資料7（P78）に示す。

3 海水浴場

県内の主要22海水浴場（年間延べ利用者数、概ね1万人以上）について、遊泳期間前及び遊泳期間中にそれぞれ2日ずつ計8回（1日に午前、午後の2回）水質測定を行った結果、水浴場として良好な水質である「水質AA」及び「水質A」にランクされた水浴場は21（遊泳期間中：19）水浴場で、遊泳可能な水質である「水質B」は1（同：3）水浴場で、「不適」の水浴場はなかった（表 - 6 - 1 , 2）。なお、水浴場の水質判定基準は表 - 7 のとおりである。

参考資料

1．人の健康の保護に関する環境基準の不適合状況（測定地点別）.....	37
2．生活環境の保全に関する環境基準の不適合状況（測定地点別）.....	53
3．生活環境の保全に関する環境基準の不適合状況（類型別）.....	65
4．測定地点におけるBOD（COD）年平均値及び75％値の経年変化.....	66
5．全窒素、全リンの測定結果.....	75
6．特殊項目の測定結果（銅、亜鉛）.....	77
7．陰イオン界面活性剤の測定結果.....	78
8．水質汚濁に係る環境基準.....	79
9．生活環境に係る環境基準の水域類型の指定状況.....	85